

【平成21年度の主な事業】

●南条中学校耐震大規模改造事業

3億9,041万4千円

南条中学校(校舎・体育館)耐震大規模改造事業により、耐震性を確保し、教育環境の改善を図りました。

●消雪施設整備事業

1億72万9千円

平成20年度に着手した「町道今庄中央線・町道湯尾幹線」および平成21年度に着手した「河内地区」の消雪施設整備が完了し、冬期間の安全な通行確保を図りました。

●学校情報通信技術環境整備事業

5,859万円

町内小中学校の教育用・校務用パソコンを整備し、未来を担う子どもたちへの情報教育の充実を図りました。

●町道日野団地線道路改良事業

5,055万1千円

日野団地内の道路側溝を整備し、道路幅員および道路側溝のスムーズな排水の確保を図りました。

●ケーブルテレビデジタル化整備事業

4,534万9千円

ケーブルテレビデジタル化整備により、地上・BSデジタル放送およびデジタル自主放送の視聴を可能としました。

特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	10億7,287万6千円	10億5,690万5千円
国民健康保険今庄診療所	3億1,269万1千円	3億869万1千円
河野診療所	8,835万4千円	8,766万7千円
簡易水道	1億7,886万8千円	1億7,875万円
個別排水処理施設	955万8千円	947万3千円
農業者労働災害共済	1,488万9千円	70万2千円
老人保健	228万3千円	223万2千円
後期高齢者医療	1億4,232万2千円	1億4,214万6千円
農業集落排水	5億2,119万5千円	5億2,113万5千円
老人保健施設	1億7,036万1千円	1億6,950万7千円
介護保険	12億4,424万7千円	12億248万9千円
ケーブルテレビ	1億7,600万7千円	1億7,365万9千円
下水道	4億1,298万4千円	4億1,294万円
世継基金運用	298万2千円	254万9千円

企業会計 水道事業

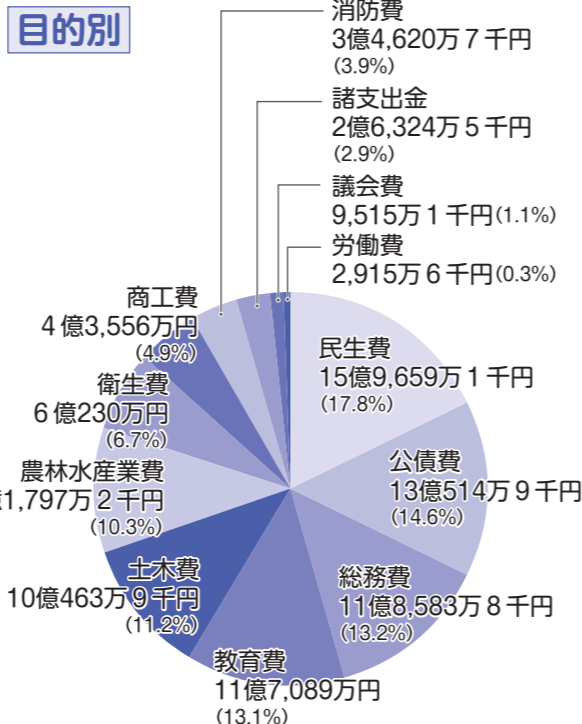
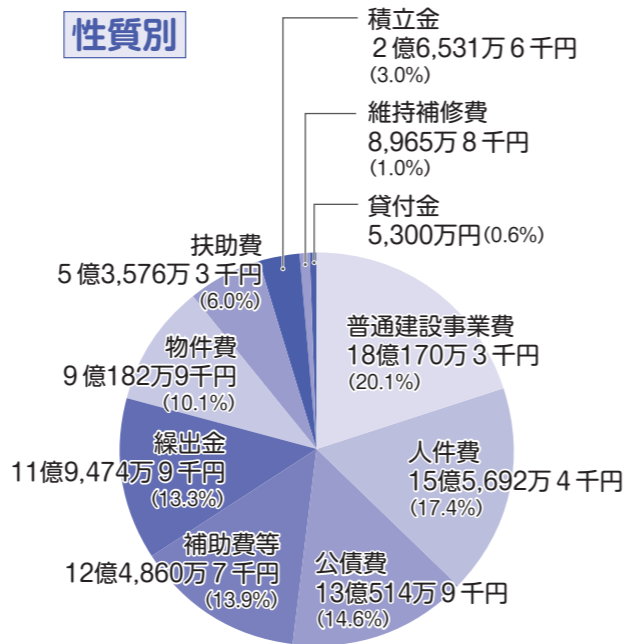
収益的収支 (水道料等での収支)	収入額	支出額
	1億9,847万9千円	1億9,791万5千円
資本的収支 (施設建設等の収支)	収入額	支出額
	0千円	452万9千円

平成21年度 決算報告

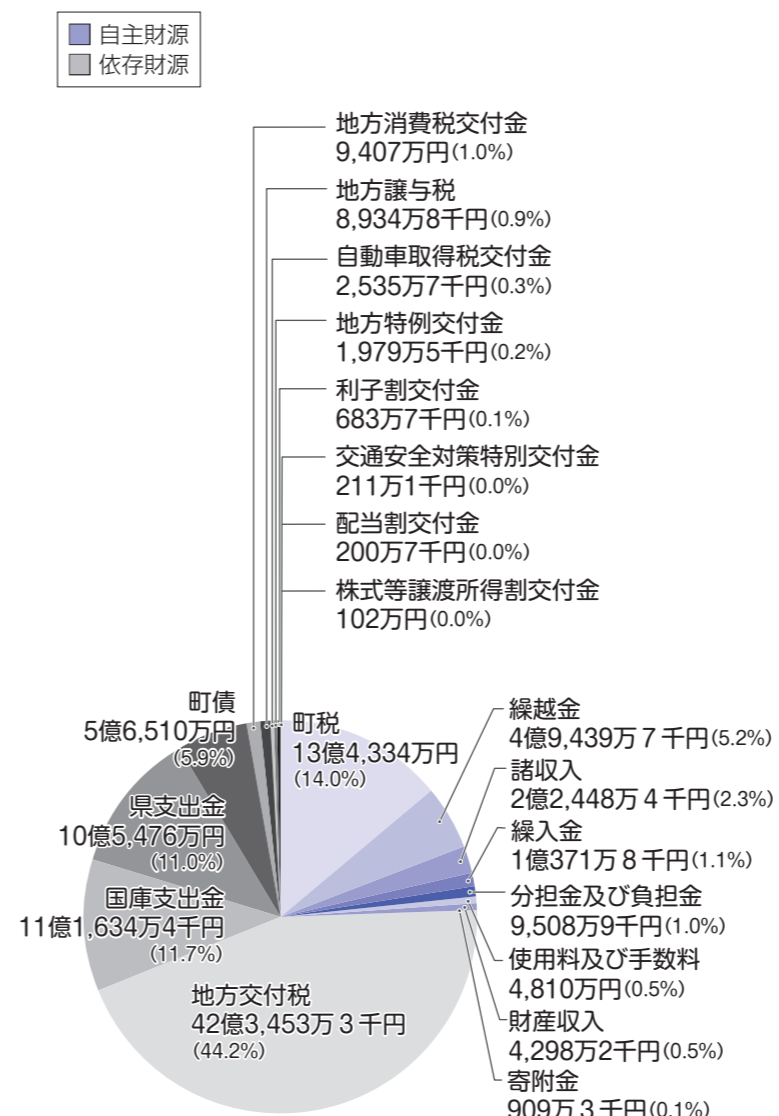
■問合せ 企画財政課 TEL 47-8012

※決算額は千円未満を四捨五入

一般会計歳出
89億5,269万8千円



一般会計歳入
95億7,248万5千円



今後の財政運営にあたっては、財源の確保に努め、年度間調整に留意しながら均衡ある地域発展を図るための諸施策を展開してまいります。
町の財政状況を判断する「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定されている町の財政指標については、広報10月号でお知らせしています。

12月議会定例会で、平成21年度の一般会計および14の特別会計、1の企業会計の歳入歳出決算が認定されました。

一般会計の決算は、歳入95億7,248万5千円、歳出89億5,269万8千円、歳入歳出差引総額は6億1,978万7千円で、翌年度に繰り越す事業の財源を除いた実質収支は、5億6,611万円の黒字となりました。

【歳入(主な増減の内容)】

国の緊急経済対策により国庫支出金が約8億5,900万円、南条中学校耐震大規模改造事業により県支出金が約2億2,700万円、また、普通地方交付税についても約8,100万円それぞれ増加しました。

一方で、国有資産等所在市町村交付金の減により固定資産税が2,300万円余り、自動車取得税交付金については1,600万円余り減少しました。

また、今庄認定子ども園整備事業などの普通建設事業が完了したため、地方債発行額が1億5,200万円余り減少しました。

【歳出(主な増減の内容)】

人件費のうち、職員の給料等が、職員数の計画的削減により約4,900万円減少し、退職手当組合負担金も800万円余り減少しました。

また、扶助費が、今庄認定子ども園の開園に伴う事業委託などにより約6,300万円増加しました。

工事費など道路や公共施設の整備に必要な普通建設事業費は、南条中学校耐震大規模改造事業などの大型普通建設事業により約7億6,200万円増加しました。

補助費等は、定額給付金事業が前年度から繰り越して実施されたことなどにより約1億6,100万円増加しました。

借金の返済にあたる公債費は、旧簡易生命保険資金繰上償還により約3,400万円増加しましたが、今後の借金の返済に備えて償還金を積み立てる減債基金に約2億6,000万円を積み立てることができました。

その結果、平成21年度の一般会計の歳出決算額は平成20年度と比べて、約10億800万円以上増額となりました。

南越前家の家計簿

21年度のわが家の家計です。
20年度と比べてみました。
by 愛子



町の普通会計（一般会計ほか4つの特別会計を合せたもの）の財政状況を一般家庭の家計にたとえ、平成20年度と平成21年度を比較してみました。

町と一般家庭では、金額の規模や使い道が大きく異なり、単純な比較方法では表せないものもありますが、ここでは各年度の住民一人当たり決算額を算出し、一般家庭を6人家族と設定して換算しました。

平成20年度…決算額81億2,603万円÷人口12,236人×6人家族≒398万5千円

平成21年度…決算額91億6,582万円÷人口12,165人×6人家族≒452万1千円

(人口はそれぞれ4月1日現在)

家族構成《6人家族》

南越前 豊 (本人・会社員)
愛子 (妻・主婦)
蓮 (長男・大学生)
海 (長女・小学生)
未来 (次女・幼稚園)
里子 (祖母)

収入

毎年、入ることが決まっている収入 303万2千円

	20年度	21年度	増減
給料等収入(地方税、地方交付税等)	299万1千円	303万2千円	4万1千円
諸手当(国県支出金)	53万7千円	107万5千円	53万8千円
預貯金利息等(財産収入)	4万5千円	2万3千円	-2万2千円
預貯金の取り崩し(繰入金)	3万3千円	5万4千円	2万1千円
その他臨時的な収入(諸収入・繰越金等)	2万6千円	5万9千円	3万3千円
ローン(町債)	35万3千円	27万8千円	-7万5千円
合計	398万5千円	452万1千円	53万6千円
預貯金残高(財政調整基金・減債基金)	69万8千円	82万8千円	13万円

支出

毎年、支出することが決まっている経費 277万2千円

	20年度	21年度	増減
食費・日用品費等(人件費)	81万3千円	80万2千円	-1万1千円
光熱水費・電話料等(物件費)	48万3千円	49万6千円	1万3千円
医療費(扶助費)	23万2千円	26万4千円	3万2千円
ローン返済(公債費)	62万5千円	64万6千円	2万1千円
長男への仕送り(繰出金)	55万3千円	56万4千円	1万1千円
車等の修理代(維持補修費)	2万9千円	4万4千円	1万5千円
お小遣い・区費等(補助費等)	53万7千円	62万円	8万3千円
家の増改築・大型家具等の購入(普通建設事業費)	51万6千円	92万1千円	40万5千円
貯金(積立金)	17万1千円	13万8千円	-3万3千円
親戚等に貸したお金(貸付金)	2万6千円	2万6千円	0円
合計	398万5千円	452万1千円	53万6千円
ローンの残高(地方債残高)	561万7千円	532万5千円	-29万2千円

平成17年に結婚(合併)した南越前家。結婚してから6年が経とうとしています。平成21年度の家計簿がまとまり、平成20年度と比べてみました。平成21年度の家計はどういう状況だったのでしょうか。

収入

- 諸手当(国県支出金)は増えたけど…
この増加は一時的なものです。景気悪化などにより町税収入などが減少しましたが、国からの交付税や交付金(経済危機対策経費)などが増加したことによるものです。
- ローン(町債)は減りました…
諸手当(国県支出金)の増加により、前年と比べて借入額が少なくなりました。

支出

- 食費・日用品費等(人件費)が少し減りました…
これは、職員採用の抑制による職員給の減少によるものです。
- お小遣い・区費等(補助費等)が増えました…
これは、定額給付金の給付によるものです。
- 家の増改築・大型家具等の購入(普通建設事業費)が増えました…
これは、諸手当(国県支出金)の増加によるものです。景気悪化などで国からの臨時的な交付金が増加したことにより、普通建設事業(道路や公共施設などの新増設等の建設事業にかかるお金)が増えました。

預貯金残高(財政調整基金・減債基金)は13万円増加し、ローンの残高(地方債残高)は29万2千円減少しましたが、引き続き厳しい台所事情に変わりはないので、支出を抑えていく必要がありますね。